

日常点検

1. テーパノズルがガス吸引口にしっかりと取り付けられていることを確認して下さい。
2. フィルタケースを開けフィルタが汚れていないか確認して下さい。
3. 電源を入れ、電池残量を確認して下さい。

使用方法

1. 電源の入れ方

ブザーがピッと鳴るまで[POWER]スイッチを押し続けます。
電源が投入され、初期動作の後、検知モードになります。

2. エア校正の仕方

『ADJ~RELEASE』表示になるまで[AIR]スイッチを押し続けます。
ガス濃度表示がゼロ(酸素は20.9vol%)になります。

3. 検知の仕方

テーパノズルを検知場所に向け、LCD表示部のガス濃度表示を読取して下さい。

4. 警報の解除/確認の仕方

[RESET/SILENCE]スイッチを押すことで、警報の解除/確認が出来ます。

操作例

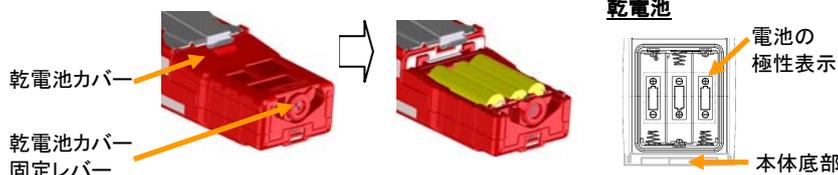
- ・ガス濃度表示が警報設定値以上の時は、ブザーの鳴動が停止し、警報ランプの作動は継続します。
- ・ガス濃度表示が警報設定値未満の時は、ブザーの鳴動が停止し、警報ランプの作動が停止します。

5. 電源の切り方

ブザーがピッピッピッと鳴り、LCDが消えるまで[POWER]スイッチを押し続けます。

6. 電池の装着及び電池の充電の仕方

電池カバーを開け、電池の極性に注意して、3本とも新しい乾電池に交換します。



※リチウムイオン電池ユニット
BUL-2012(オプション使用時)

本体を充電器に挿入して充電します。充電が始まると、充電確認用ランプが点灯(赤)します。



警告 :危険場所では充電を行わないで下さい。

注記 : 詳細は取扱説明書をご参照願います。

ガス警報

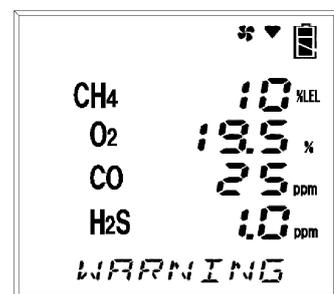
＜ガス警報一覧＞

警報の種類	第一警報	第二警報	OVER 警報	TWA 警報	STEL 警報
酸素	19.5%	18.0%	40.0%	—	—
可燃性ガス	10%LEL	50%LEL	100%LEL	—	—
硫化水素	1.0ppm	10.0ppm	30.0ppm	1.0ppm	5.0ppm
一酸化炭素	25ppm	50ppm	500ppm	25ppm	200ppm
ブザー	約 1 秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 ピーピー	約 0.5 秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 ピッピッ	約 0.5 秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 ピッピッ	約 1 秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 ピーピー	約 1 秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 ピーピー
警報ランプ	約 1 秒周期の点滅動作を繰り返す	約 0.5 秒周期の点滅動作を繰り返す	約 0.5 秒周期の点滅動作を繰り返す	約 1 秒周期の点滅動作を繰り返す	約 1 秒周期の点滅動作を繰り返す
LCD 表示	ガス濃度及び WARNING 表示が点滅する	ガス濃度及び ALARM 表示が点滅する	ガス濃度及び OVER 表示が点滅する	ガス濃度及び TWA 表示が点滅する	ガス濃度及び STEL 表示が点滅する

＜表示動作＞

ガス濃度表示

ガス警報ではガス濃度表示及び内容表示が点滅します。
検知範囲を超えると（オーバースケール）、LCD 表示が「〇〇〇」となります。



表示例

トラブルシューティング

症状	原因	処置
電源が入らない	電池が極端に消耗している	乾電池ユニットの場合：非危険場所で 3 本とも新品の乾電池に交換して下さい。 リチウムイオン電池ユニットの場合：非危険場所で充電を行って下さい。
	電源スイッチを押す時間が短い	電源を入れる時はピーと音が出るまで POWER スwitch を押し続けて下さい。
	電池ユニットの実装不良	電池ユニットが正しく本体に装着されているか確認して下さい。
センサ異常 FAIL SENSOR	センサが故障している	販売店または最寄りの弊社本社営業所までセンサ交換をご依頼下さい。 (電源投入時のみ RESET スwitch を押すことで、故障していないセンサを除き、その他のガスについては使用できます。)
電池電圧低下警報が表示されている FAIL BATTERY	電池残量がなくなっている	乾電池ユニットの場合：電源を切り、非危険場所で新品の乾電池に交換して下さい。 リチウムイオン電池ユニットの場合：電源を切り、非危険場所で充電を行って下さい。
流量低下警報が表示されている FAIL LOW FLOW	水、油等を吸いこんでいる	ガス採集チューブに損傷や水、油等の吸い込み跡がないか、確認して下さい。
	フィルタが詰まっている	フィルタの取り付け状態及び詰まりやねじれ等を確認して下さい。
	ポンプが劣化している	販売店または最寄りの弊社営業所までポンプ交換をご依頼下さい。
	長期間動作させずに保管している(6ヶ月以上)	流量低下警報が表示されたら、一度電源をオフにして再度電源を入れて下さい。数回この操作を行って改善しない場合は、販売店または最寄りの弊社営業所までポンプ交換をご依頼下さい。
エア調整ができない FAIL AIR CAL	本器の周囲に新鮮な空気が供給していない	新鮮な空気を供給して下さい。

6ヶ月に1回以上の点検を行うことをお勧めします。

注記：詳細は取扱説明書をご参照願います。